

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No. 7013-1 (H.24)No. 7013-1

事務事業名		市立病院(病院事業会計)	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
市立病院事務局	経営総務室	関森弘康	61-1100
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 9年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	1	地域医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

2. 予算区分

会計区分		事業コード
病院事業会計		(中事業名) 予算書事業名
款		
項		(小事業名)
目		

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>当院は、良質で高度な二次医療の提供と救急医療に重点を置いた地域のの中核病院として機能を果たしてまいりました。しかし、近年、医師不足が深刻な状況となり、医療体制ははもとより、経営面においても医師不足が大きく影響し、厳しい状況となっています。</p> <p>こうした状況の下、市立病院改革プランに基づく経営健全化と医師確保を最重要課題として取り組みを進めるとともに、医療機器の更新や医師業務の負担軽減を図るなど魅力ある病院づくりに努めています。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>基本理念である「市民のみなさまに親しまれ親頼される病院を目指します」を常に念頭に置いて市民の命と健康を守ります。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
	・病床数:一般200床 ・23年度実績 年間延患者数 入院48,003人 外来72,054人 一日平均患者数:入院131人、外来295人 <22年度からの繰越明許費: 154,350千円(県支出金77,175千円、起債77,100千円、留保資金75千円)	・病床数:一般200床 ・計画 年間延患者数 入院56,940人 外来83,790人 一日平均患者数:入院156人、外来342人	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
			・病床数:一般200床 ・計画 年間延患者数 入院56,940人 外来83,790人 一日平均患者数:入院156人、外来342人	・病床数:一般200床 ・計画 年間延患者数 入院56,940人 外来83,790人 一日平均患者数:入院156人、外来342人	・病床数:一般200床 ・計画 年間延患者数 入院56,940人 外来83,790人 一日平均患者数:入院156人、外来342人	
直接事業費	(154,350千円) 3,021,236千円	3,195,350千円	3,195,350千円	3,195,350千円	3,195,350千円	3,195,350千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金	(77,175)				
	地方債	(77,100)	161,500	150,700		
	その他()	(75)	1,549,084	2,126,182	1,936,598	1,978,532
一般財源		1,310,652	918,468	1,258,752	1,216,818	1,184,936
人工数	職員	208.00人	218.00人	218.00人	218.00人	218.00人
	臨時職員等	52.00人	54.00人	54.00人	54.00人	54.00人
概算人件費	2,024,683千円	2,198,572千円	2,198,572千円	2,198,572千円	2,198,572千円	2,198,572千円
+ 総事業費	(154,350千円) 5,045,919千円	5,393,922千円	5,393,922千円	5,393,922千円	5,393,922千円	5,393,922千円

本シートの概算人件費欄 には、実際に要した(要する見込みの)人件費を記載しています。
 平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。
 平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	年間延べ患者数(入院)	55,306	55,490	55,490	55,490	55,490
	実績		48,240	47,565	48,240	48,003	
活動指標	目標	年間延べ患者数(外来)	87,388	92,732	87,388	85,982	85,982
	実績		71,908	72,025	71,908	72,054	
活動指標	目標	内科医師の確保				8	8
	実績		7	7	7	6	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
医師不足が厳しい状況にある中、年間延べ入院患者数、年間延べ外来患者数ともに横ばい状況にある。	三重大学への「伊賀地域医療学講座」(寄付講座)の設置に伴う医師の派遣及び卒後臨床(前期)研修医の新規採用による医師の増加によって診療体制強化を図ることにより、市民への医療サービスの充実に努め、ひいては患者数の増加を目指す。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
引き続き医師不足は深刻な状況にあり、今後も医師の確保に努め、医療体制の強化を図る必要がある。また、収益改善に向け、医療体制の強化や新たな制度の導入による医業収益の向上を目指す必要がある。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	常に効率的な運営に心がけて事業を実施しなければならない。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	地域医療支援病院の承認やDPC制度(診断群分類包括評価)の導入により、地域医療体制の充実や市民への医療サービスの向上と、医業収益の増加を図る。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	常に効率性を高める工夫を心がけて事業を実施しなければならない。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項